

2024年11月11日
株式会社エクサウィザーズ
(コード番号：4259 東証グロース)

第一生命、AI サービス開発環境「exaBase Studio」の プライベートクラウド版を採用

～ セキュアな AI 活用プラットフォーム上で、重要な社内データを活用した自社開発を促進～

株式会社エクサウィザーズ（東京都港区、代表取締役社長：春田 真、以下エクサウィザーズ）は、第一生命保険株式会社（代表取締役社長：隅野 俊亮、以下第一生命）に、AI サービス開発環境「exaBase Studio」のプライベートクラウド版を提供することをお知らせします。第一生命は2024年10月よりプライベートクラウド版のAI活用プラットフォームの開発に着手しており、セキュアな環境で、厳重な管理が必要となる重要な社内データを用いた生成AIの活用を推進していく計画です。2025年1月より本格的な稼働を予定しています。エクサウィザーズは、exaBase Studioのプライベートクラウド版をアマゾン ウェブ サービスのAWSクラウド環境で提供しており、今後他の主要なプラットフォームにも拡大していきます。



exaBase Studio は2023年11月の本格提供の開始以来、AIアプリケーションの内製に取り組む金融・保険、通信、インフラ、公共など様々な企業や団体で採用いただいています。

その1社である第一生命は、exaBase Studio で構築したAI活用のためのプラットフォームをプライベートクラウドの環境に移行します。これにより、パブリッククラウドの環境では扱うことが難しい、重要な社内データを活用するためのセキュアな環境を実現しました。このプライベートクラウドのAI活用プラットフォームを活用して、生成AIをはじめとした各種AIアプリケーションを内製により開発・提供していく予定です。

なお、第一生命は、2023年からexaBase StudioによるAI活用プラットフォームの開発・利用を推進しています。詳しくは当社プレスリリースをご覧ください。

<https://exawizards.com/archives/25642/>

☑エクサウィザーズによるパブリッククラウド版の提供について

exaBase Studioのプライベートクラウド版は、エクサウィザーズ側で顧客の社内システムやネットワークの環境にあわせて、個別にカスタマイズして提供いたします。

当初はAWS環境で提供し、今後対応するクラウドプラットフォームを拡大していく予定です。

プライベートクラウド版には以下のようなメリットがあります。

- ・ exaBase Studio を、自社のセキュリティポリシーに合致させて運用できる
- ・ 社内ネットワーク内のシステムと、セキュアな状態で接続したうえで連携が可能
- ・ 社内の各部門で管理している重要なデータをフルに活用した、生成 AI や AI のサービスを構築できる

☑ exaBase Studio の特徴

exaBase Studio は、社内外の AI モデルやサービス、データを組み合わせて、AI サービスを構築できる開発環境です。キャンバスと呼ぶ直感的にわかりやすい設計・開発用の UI（ユーザーインターフェース）を活用して処理を可視化し、エンジニア以外に、経営者や業務をよく知る社内外の人材を巻き込んだオープンな設計や更新が容易となります。開発の煩雑な手順を半自動化する仕組みを搭載しており、開発のプロセスが大きく変わります。「動くものを触りながら改善する」というアジャイル型での内製開発を支援します。データ連携の RAG について継続的に改善する RAGOps のテンプレート（ひな型）も用意しています。

詳しくは以下をご覧ください。

<https://exawizards.com/exabase/studio/>

<https://exawizards.com/exabase/studio/ragops-starter-kit/>

なお、本件がエクサウィザーズの 2025 年 3 月期業績に与える影響は軽微であります。

【エクサウィザーズ 会社概要】

会社名 : 株式会社エクサウィザーズ (証券コード 4259)

所在地 : 東京都港区芝浦 4 丁目 2-8 住友不動産三田ファーストビル 5 階

設立 : 2016年2月

代表者 : 代表取締役社長 春田 真

事業内容 : AIを利活用したサービス開発による産業革新と社会課題の解決

URL : <https://exawizards.com/>

<広報に関するお問い合わせ先>

株式会社エクサウィザーズ 広報 メール : publicrelations@exwzd.com